

こつち福祉だより

377号
平成30年12月
(2018年12月)
河内地区社会
福祉協議会発行

H30.11
河内社協
体協

紅葉を眺め

ウォーキング

秋空のもと、地区体協と社協の共催にて秋のウォーキングが11月10日に行われた。総勢72名が参加した魚切ダムを散策する2.5キロコースと5キロコースである。

ウォーキングアップを済ませ、白川より出発し、友人たちと久しぶりのお喋りウォーキングの始まりであるが、落ち葉で滑り易い道もあり、足元にも気をつけなといいけないし、山を見上げ見ごろとなつた魚切ダム周辺の紅葉も楽しまなければいけない。忙しいことである。片道約30分ばかり、休憩をとり、引き返す。帰り道になると、幾つかのグループができ、あいさつを交わしながら、ゴールをめざした。ゴールというか？あの白川集会所で大鍋で炊いた芋煮が私たちを待っているのである。程よく小腹



もすき湯気立つ芋煮には癒された。新米で炊かれたおむすびも美味しかった。

地域の方と交流ができ、健康になり、美味しい物にもありつき、最高の一日であった。



後日全員で撮った写真も届けられ、いい記念となった。家族と写真を眺めながら、「この人は誰?」「あそここの人よ。」と。皆さんのお名前はさすがに判らず残念だった。

次回は、妻も誘い楽しむのも悪くもないかとふと思つた次第である。

芋好きなゆずるくん

健康講座のおしらせ

日時 12月12日(水) 午後1時～3時
場所 河内公民館1階研修室
内容 『家庭で活かせる介護技術』
『デイサービスの利用者の皆さんから教えて頂いた介護技術』

講師 あかり園デイサービス
生活指導員 田中克典氏

予約不要・どなたでもご参加ください

新たな取組

芸能祭／文化祭

地域の組織をシンプルにし、行事の負担軽減と経費節減の要望が多数あり、コミュニティ推進協議会を解散し、町内会連合会に業務を移管しました。

そこで、芸能祭を気候のよい、秋の文化祭と同日に行い、バザー・作品展示・歌・踊り・演奏等々を、みんなが楽しめる新たな



オープニングは、河内太鼓団による演奏、保育園児によるくす玉割り、テープカット。朝からたくさんの方が参加されました。

な取組を行いました。

文化祭の作品は、広い柔道場と公民館一階フロアに展示し、くつろいで鑑賞してもらいました。公民館2階大集会室にステージを設営し、青少年の主張作文発表と芸能祭が行われ、日舞・盆踊り歌やハーモニカ・大正琴・和太鼓・草笛演奏等で心が和み、最後は公民館発案の4世代ハーモニカ合唱が大変好評でした。

今後も皆様のご支援・ご協力をよろしく願っています。

町内会連合会会長 杉田精司



町民運動会を終えて

10月20日(土)、

平成30年度河内地区町民運動会が、爽やかな秋晴れのもと盛大に開催されました。河内小学校との同日開催も早いもので5年目となりました。



新種目のザル引き競争。どの競技も接戦が続き、綱引き勝者の白組が優勝しました。

午前中は児童の元気いっぱい真剣な競技に感動し、還暦を過ぎた私ですが「負けてはおられん」と元気をいただきました。

今年の町民運動会は河内地区全体のチーム編成を赤・白の2チームに変更し、予定していたプログラムの内容に沿った形では、初めての運動会となりました。競技種目も誰でも参加できる「玉入れ」や伝統競技の「樽ころがし」、何と言っても盛り上がる「リレー」などがあり内容も工夫されているように思いました。

事前の選手集めや当日の運営など、準備も大変であることを聞いてはおりますが、地域コミュニティを形成する上で大変大きな役割を持っていると考えております。

この歴史ある町民運動会が少しでも長く続くことを願っており、微力ではありますが協力させていただきたいと考えております。

青田 繁幸